



村を見つめる修学旅行

椎葉村内小学校（椎葉小、尾向小、松尾小、不土野小、大河内小）6年生15名は、令和5年10月11日（水）～13日（金）2泊3日の日程で、長崎・熊本方面を目的地として、修学旅行に行きました。体調が悪くて休む児童は一人もいませんでした。6年生全員が修学旅行に元気で参加できたことが何よりも嬉しかったです。

【3日間の見学場所等】

- 11日（水）
長崎平和公園、爆心地公園
原爆資料館
- 12日（木）
長崎市内班別自主研修
万田抗ステーション
- 13日（金）
三井グリーンランド



昭和20年8月9日、午前11時2分。美しい長崎のまちが、原子爆弾で一瞬にして消えてしまいました。この地を訪れて、子どもたちは何を考え、学んだのでしょうか。原子爆弾のせいで、何も罪のない人た

ちが一瞬にしてたくさん亡くなってしまいました。これから先「戦争は絶対にしてはいけない」「平和が一番だ」と感じてくれたのではないかと信じています。

今もなお、世界では紛争が絶えません。未来を生きる子どもたちのために、何ができるのか、一緒に考えなくてはなりません。

さて、下の2枚の写真は、長崎市内班別自主研修の様子です。



歴史文化博物館を出発し、道に迷いながら、班で決めた見学地を巡り、オランダ物産館のゴールを目指して頑張りました。この班別自主研修について、嬉しいニュースが、12日の午前中、長崎より届きました。次のような内容です。

長崎の方から椎葉小学校にお電話がありました。その方は、椎葉村内小学校の6年生から道を尋ねられたので教えたところ、そのお礼として、椎葉村のパンフレットをもらったようです。その方は昔、椎葉に訪れたことがあるらしく、子どもたちの礼儀正しさと懐かしさで胸がいっぱいになり、お電話してくださったようでした。

早速、引率している校長先生と各小学校の校長先生に連絡をし、椎葉村内小学校6年生の素晴らしさを共有しました。子どもたちは、この修学旅行をとおして、修学旅行の目的の一つである、『村外から椎葉を見つめ、郷土に対する理解と愛情を深めるとともに、家族への感謝の気持ちをもつ』を達成できたのではないのでしょうか？このような貴重な体験をさせてくださった保護者の皆様、村教育委員会の皆様、そして引率してくださった先生方、改めて感謝申し上げます。

15日は村内一斉清掃でした。学校周辺もきれいにさせていただきありがとうございました。「まつぼり風」のことを聞きました。いよいよ寒くなるのでしょうか。